

平成28年度北海道札幌啓成高等学校 保護者アンケート結果

平成28年12月9日

	評 価 項 目	平成28年度		平成27年度		平成26年度	
		評価 平均値	「わからない」の割合	評価 平均値	「わからない」の割合	評価 平均値	「わからない」の割合
学校運営	1 信頼できる学校である。	4.2	4.8%	4.3	3.9%	4.3	4.2%
	2 生徒(お子さん)を入学させて良かった。	4.3	3.0%	4.4	2.5%	4.3	3.4%
	3 生徒(お子さん)は目標を持って学校生活を送っている。	3.8	2.6%	3.9	2.2%	3.8	1.8%
	4 特色ある学校づくりに努めている。	3.8	12.8%	3.9	10.6%	3.7	8.2%
	<評価平均値>	4.1		4.1		4.0	
教科指導	5 分かりやすい授業が行われている。	3.5	23.5%	3.5	27.3%	3.5	24.9%
	6 生徒(お子さん)は意欲的に学習活動に取り組んでいる。	3.6	2.5%	3.6	2.0%	3.5	2.1%
	7 学校全体の学力は向上している。	3.6	26.0%	3.8	26.3%	3.7	25.5%
	8 授業のレベルに満足している。	3.5	23.7%	3.6	27.0%	3.6	23.7%
	<評価平均値>	3.5		3.6		3.6	
生徒指導	9 生徒指導の方針は理解できる。	3.8	16.0%	3.9	13.1%	3.9	9.5%
	10 どの先生も同じ方針で生徒指導ができています。	3.2	34.4%	3.3	35.8%	3.2	32.1%
	11 生徒は規律ある生活をしている。	4.0	7.2%	4.0	7.8%	4.0	6.1%
	12 先生は生徒をよく理解するように努めている。	3.7	19.8%	3.7	23.6%	3.6	17.9%
	<評価平均値>	3.7		3.7		3.7	
進路指導	13 生徒(お子さん)の進路について相談にのってくれている。	4.0	11.1%	4.0	10.1%	4.0	11.6%
	14 保護者との連携を密にしながら進路指導を進めている。	3.4	12.5%	3.5	14.3%	3.4	13.1%
	15 進路指導の取組(講習・模試等)に満足している。	3.7	8.3%	3.9	8.1%	3.8	9.8%
	16 進路指導の実績に満足している。	3.5	23.1%	3.6	25.7%	3.6	22.2%
	<評価平均値>	3.7		3.7		3.7	
いじめ対応	17 学校は、いじめ対処方針や指導計画を明らかにしている。	3.4	43.7%	3.5	42.1%	3.6	29.8%
	18 組織としていじめの実態把握・早期発見に努めている。	3.4	47.6%	3.5	47.3%	3.6	37.5%
	19 いじめへの対処方針・取組を保護者・地域と共有している。	3.2	50.6%	3.2	48.1%	3.3	40.2%
	20 全体で組織的に迅速に対応する体制で機能している。	3.4	51.3%	3.5	51.8%	3.5	44.0%
	<評価平均値>	3.3		3.4		3.5	
その他	21 学校行事は充実している。	3.7	4.0%	3.7	6.6%	3.6	4.5%
	22 部活動は充実している。	4.0	6.6%	4.0	8.1%	3.9	7.9%
	23 健康・安全指導に満足している。	3.9	11.1%	3.9	12.6%	3.9	12.2%
	24 家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	3.5	10.3%	3.5	10.4%	3.5	9.1%
	<評価平均値>	3.8		3.8		3.7	
全体の評価平均値		3.7		3.8		3.7	
アンケート回収数		723名(76.3%)		643名(67.7%)		675名(71.1%)	

※ 評価基準値

A: と思う B: ややと思う C: あまりそう思わない D: そう思わない N: わからない

評価欄の数字は、評価を5点法(A=5点、B=3.7点、C=2.3点、D=1点)に換算し、平均した値です。

平成27年度北海道札幌啓成高等学校 自己評価結果

平成28年12月19日

	評価項目	A	B	C	D	N	計	平均	H27	H26
1	学校教育目標は、生徒の実態や保護者、地域住民の願いを踏まえたものとなっている。	11	43	3	0	1	58	3.9	4.0	4.1
2	学校教育目標や重点目標を具現化するという意識のもと、日常の教育活動を行っている。	9	43	6	0	0	58	3.7	3.8	3.8
3	他の学校にない特色を生かし、豊かな個性を持ち、これからの社会を担う人材を育てる教育活動を行っている。	15	38	5	0	0	58	3.9	4.0	3.9
4	学校教育目標や経営方針が情報提供されるとともに、自己評価、学校関係者評価に基づいた学校改善が行われている。	7	38	13	0	0	58	3.5	3.6	3.7
5	学校運営の効率化や組織力の向上等を図るために学校の組織や業務の改善を行っている。	7	34	15	1	1	58	3.4	3.3	3.3
6	分掌及び学年間相互の連携や年次間の引き継ぎが円滑に行われている。	4	34	18	2	0	58	3.3	3.2	3.2
7	校内研修体制が整備され、学校課題に沿った研修がなされている。	4	37	14	3	0	58	3.3	3.2	3.0
8	教科内研修はもとより、校内研修を積極的に推進し、実践的指導力の向上を図っている。	4	29	20	3	1	57	3.1	3.2	2.9
9	社会の動きに対応し、学校教育目標を達成する教育課程を編成・実施している。	5	32	15	5	0	57	3.2	3.4	3.4
10	生徒の能力・適性を伸ばし、進路希望の実現に結びつく教育課程を工夫している。	5	40	9	4	0	58	3.4	3.7	3.5
11	学校全体として、分かりやすい授業を行い、自ら学ぶ意欲を高め、学力向上を図るなど、教科指導の工夫に努めている。	4	44	6	2	2	58	3.5	3.7	3.7
12	シラバス作成、生徒による授業評価、授業公開を行うなど、学校全体として授業改善に努めている。	7	42	7	1	1	58	3.6	3.9	3.8
13	授業は学習指導計画(シラバス)にそって、適切に進められている。	9	38	5	2	4	58	3.7	3.9	3.9
14	基礎基本の確実な定着や発展的学習の促進など、個に応じた学習指導に努めている。	14	37	5	0	2	58	3.9	3.8	3.9
15	基本的な生活習慣と節度ある態度を身に付けるような指導を行っている。	17	40	1	0	0	58	4.0	4.1	4.2
16	命の大切さや思いやりの心を育む指導を行っている。	10	34	13	0	1	58	3.6	3.8	3.9
17	生徒指導に関して家庭・地域社会・関係機関との連携が図られている。	8	44	6	0	0	58	3.7	3.7	3.8
18	個人面談や相談体制の充実など生徒一人一人を大切にされた組織体制ができている。	13	45	0	0	0	58	4.0	4.0	3.9
19	進路指導の方針を明示し、生徒や保護者に説明している。	17	38	3	0	0	58	4.0	4.0	4.1
20	進路情報を収集し、生徒や保護者に適切に提供している。	15	40	3	0	0	58	3.9	4.1	4.0
21	望ましい勤労観や職業観の育成などキャリア教育の指導が適切に行われている。	3	30	23	1	1	58	3.2	3.3	3.4
22	生徒の適性や希望を生かした進路指導体制ができている。	6	48	4	0	0	58	3.7	3.9	3.9
23	本校の学校行事は、生徒にとって有益である。	10	46	2	0	0	58	3.9	3.9	3.8
24	部活動や生徒会活動は、自主的に進められ活発である。	14	43	1	0	0	58	4.0	4.0	3.8
25	HR活動は活発で、クラス全員が参加できるように配慮されている。	8	39	8	0	3	58	3.7	3.7	3.6
26	健康指導や交通安全などの生活安全に関する指導が適切に行われている。	12	45	1	0	0	58	3.9	4.0	4.0
27	防災計画の作成や避難訓練等の実施は適切に行われている。	13	41	3	1	0	58	3.9	4.1	4.0
28	環境美化・清掃活動は徹底されている。	12	38	7	1	0	58	3.7	3.8	3.9
29	特別な支援を必要とする生徒に対する適切な指導が行われている。	13	41	3	0	0	57	3.9	4.0	3.9
30	国際的に通用する科学技術系人材の育成が適切に行われている。	8	37	9	0	3	57	3.6	3.8	3.9
31	SSHの取組が該当教科担当者に限らず、全体の取組となっている。	0	26	28	3	0	57	2.9	2.9	3.1
32	保護者・地域に積極的に情報提供するなど、開かれた学校づくりを意識し、推進している。	6	44	6	0	1	57	3.7	3.8	3.8
33	保護者・地域の意見や要望を取り入れ、連携・協力した教育活動が進められている。	5	40	7	1	4	57	3.6	3.5	3.6
34	公開授業、学校行事に多くの保護者や地域住民が来校している。	5	31	19	2	0	57	3.2	3.4	3.6
35	本校のPTA活動は、熱心に取り組まれている。	9	43	3	0	2	57	3.8	3.8	3.8
36	本校の施設・設備は、教育活動をするのに十分であり、安全に配慮され整備が行き届いている。	3	30	19	4	0	56	3.1	3.1	3.6
37	学校は、いじめ対処方針や指導計画を明らかにしている。	12	37	7	0	1	57	3.8	3.7	3.9
38	組織としていじめの実態把握・早期発見に努めている。	13	40	4	0	0	57	3.9	3.8	3.9
39	いじめへの対処方針・取組を保護者・地域と共有している。	6	32	16	0	3	57	3.4	3.4	3.6
40	全体で組織的に迅速に対応する体制で機能している。	8	40	6	1	2	57	3.7	3.6	3.7
41	計画的・効率的な予算編成や適正な予算執行など、学校事務の改善に努めている。	3	39	9	3	3	57	3.4	3.3	3.6
42	保護者など部外者への来校時の対応や電話対応は親身に行われている。	12	39	4	1	1	57	3.5	3.5	3.6
※5段階評価に換算するため、平均点はA=5、B=3.7、C=2.3、D=1とし、Nは総数から引いて計算しました								全体の平均値		
								3.62	3.68	3.71

平成28年度北海道札幌啓成高等学校一次学校関係者評価結果

平成29年1月20日

○あなたの評価（PTA役員・運営委員による評価）

A：そう思う、B：どちらかといえばそう思う、C：どちらかといえばそう思わない、

D：そう思わない、N：判断できない、分からない

○学校職員による評価の適切さ

A：適切な評価である、B：ほぼ適切な評価である、C：やや不適切な評価である、

D：不適切な評価である、N：判断できない、分からない

※ 評価欄の数字は、今年度の評価を5点法（A=5点、B=3.7点、C=2.3点、D=1点）に換算し、平均した値である。また、（）内は、昨年度の評価である。

評価項目	番号	小項目	あなたの評価	学校職員による自己評価	自己評価の適切さ
学校経営	1	学校教育目標は、生徒の実態や保護者、地域住民の願いを踏まえたものとなっている。	4.4 (4.2)	3.9 (4.0)	4.6 (3.9)
教育活動	2	他の学校にない特色を生かし、豊かな個性を持ち、これからの社会を担う人材を育てる教育活動を行っている。	4.3 (4.2)	3.9 (4.0)	4.6 (4.1)
	3	学校全体として、分かりやすい授業を行い、自ら学ぶ意欲を高め、学力向上を図るなど、教科指導の工夫に努めている。	3.8 (3.8)	3.5 (3.7)	4.5 (3.4)
	4	シラバス作成、生徒による授業評価、授業公開を行うなど、学校全体として授業改善に努めている。	4.1 (3.9)	3.6 (3.9)	4.4 (3.8)
	5	基本的な生活習慣と節度ある態度を身に付けるような指導を行っている。	4.5 (4.3)	4.0 (4.1)	4.7 (4.0)
	6	望ましい勤労観や職業観の育成などキャリア教育の指導が適切に行われている。	3.8 (3.8)	3.2 (3.3)	4.4 (4.0)
	7	本校の学校行事は、生徒にとって有益である。	4.3 (3.9)	3.9 (3.9)	4.4 (3.9)
	8	部活動や生徒会活動は、自主的に進められ活発である。	4.3 (4.2)	4.0 (4.0)	4.7 (4.1)
	9	健康指導や交通安全などの生活安全に関する指導が適切に行われている。	4.2 (4.2)	3.9 (4.0)	4.5 (4.1)
	開かれた学校	10	保護者・地域に積極的に情報提供するなど、開かれた学校づくりを意識し、推進している。	4.0 (3.9)	3.9 (3.8)
11		保護者・地域の意見や要望を取り入れ、連携・協力した教育活動が進められている。	3.9 (3.8)	3.6 (3.5)	4.5 (3.9)
12		本校のPTA活動は、熱心に取り組まれている。	4.3 (4.2)	3.8 (3.8)	4.5 (4.1)
教育環境	13	本校の施設・設備は、教育活動をするのに十分であり、安全に配慮され整備が行き届いている。	4.0 (4.1)	3.1 (3.1)	4.2 (4.0)
いじめ対応	14	学校は、いじめ対処方針や指導計画を明らかにしている。	3.6 (3.7)	3.8 (3.7)	4.3 (4.0)
	15	組織としていじめの実態把握・早期発見に努めている。	3.7 (3.6)	3.9 (3.8)	4.4 (4.1)
	16	いじめへの対処方針・取組を保護者・地域と共有している。	3.4 (3.4)	3.4 (3.4)	4.3 (4.1)
	17	全体で組織的に迅速に対応する体制で機能している。	3.8 (3.6)	3.7 (3.6)	4.6 (4.0)
その他	18	保護者など部外者への来校時の対応や電話対応は親身に行われている。	4.4 (3.9)	3.5 (3.5)	4.2 (3.9)
	19	お子さんを本校に入学させて良かったと思いますか。	4.7 (4.5)		

(回収率 44名 / 56名 78.6%)

◆学校評価の「評価項目」に関する今年度の主な取組についての適切さ（適した取組であるかどうか）について

A：十分な効果が期待できる、B：ほぼ十分な効果が期待できる、C：あまり効果が期待できない、D：全く効果は期待できず改善を要する、N：判断できない

※ 評価欄の数字は、今年度の評価を5点法(A=5点、B=3.7点、C=2.3点、D=1点)に換算し、平均した値である。また、()内は、昨年度の評価である。

評価項目	今年度の主な取組	取組の適切さ
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標の達成を目指すため、教育活動の充実・改善を図るとともに、課題解決のための実効性のある方策を検討し、学校力の向上を図っている。 	4.2 (4.2)
教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価を実施し授業改善を行うとともに、シラバスを作成し生徒に授業内容や評価の観点などの学習活動に資する情報を提供している。 ・基礎基本の定着を図るため朝学習における小テストや週末課題を実施している。 ・スーパーサイエンスハイスクール事業を展開し、森林研修や道内外研修及び海外研修を実施するなど国際的に通用する科学技術系人材の育成を図っている。 	4.1 (4.1)
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりを推進するため、ホームページの更新をこまめに行い、情報提供を積極的に行っている。 ・新聞局作成の「啓成高新聞」、図書局作成「啓成ライブラリー」等により、本校の教育活動状況の情報提供に努めている。 	4.1 (3.9)
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の整備推進のため、清掃を徹底し、清掃活動の一層の充実を図っている。 	4.4 (4.2)
いじめ対応	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会生活委員会がいじめ撲滅のスローガンを設定し、各クラスにチラシを掲示している。 ・ネットパトロールを定期的に行い、ネット上の誹謗中傷等の早期発見および事前防止に努めている。 	4.0 (3.7)

平成28年度北海道札幌啓成高等学校二次学校関係者評価結果

北海道札幌啓成高等学校

開催日時	平成29年2月23日(木) 18時00分～19時20分		
会場	北海道札幌啓成高等学校 会議室		
出席者	佐々木 亨(元PTA会長) 大坂 正和(元学田町内会長) 前田 勝也(厚別警察署生活安全課長)	校長 副校長 教頭 事務長 教務部長 進路指導部副部長 生徒指導部長 SSH推進部長	鈴木 晃 上野 秀俊 高野 隆広 田中 浩 中原 浩 佐々木 四郎 服部 洋宜 植木 玲一
意見を求めた事項	学校関係者の意見等		
1 質問・意見等	<p>○携帯電話の使い方については、生徒の方が保護者より進んでいる。一般の保護者向けの研修会などはあるのか。 (回答) SNSにおけるトラブルなどインターネットの使用に関して、生徒向けの講演会の開催、PTA役員への研修会への案内はしているが、一般の保護者に対してはプリントを配布し啓蒙している程度である。</p> <p>○地域の子ども会にリーダー研修に中高生の参加が著しく減少している。中高生になると部活動が忙しいということが理由になっている。地域との交流はどのようになっているか。 (回答) 部活動単位で地域の消火栓の雪かきボランティアなどに参加している。</p> <p>○自分にとって都合のいいことはするが、そうでないことはしない高校生がいるが、啓成の生徒はどうか。 (回答) 基本的な生活習慣は身につけており、学校生活において他人に迷惑をかけるような行動を意識的にとる生徒はいない。校外でも、バス等の乗車マナーや公共施設の使用等で苦情等はない。</p> <p>○高校生が社会に参加してないと思うがどうか。 (回答) 地域のイベントやボランティアなどへの参加を通じて、同世代だけでない人たちと係わりの中で成長する機会があると良い。</p>		
2 評価等	<p>○特に、改善を強く求めるような意見はなかった。</p> <p>○携帯電話の使用によるネットトラブルへの意見が多く、本校生徒のことではないが、新聞等で報道されているインターネットに関する高校生の事件、事故への意見が多くあった。</p>		

平成 2 8 年度学校評価報告書

平成 2 9 年 3 月 1 7 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌啓成高等学校長 鈴木 晃 印

次のとおり平成 2 8 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

1	授業改善や授業時数確保等に取組み、個性を伸ばす学習指導の一層の充実を図るとともに、生徒が自ら学びたい生活の豊かさなど実効性を高める活動を通して、主体的に社会貢献する資質を育成する。
2	望ましい生活の豊かさなど実効性を高める活動を通して、主体的に社会貢献する資質を育成するとともに、自他の生命を尊重し、高い倫理観や思いやりを育む。
3	体系的な活動を通して、自己理解・学習の時間と部活動等の調和を図り、健全な体と強い精神力を持ち、主体的に社会貢献する資質を育成する。
4	望ましい勤労観・職業観を育成するとともに、総合的な学習の時間と部活動等の調和を図り、健全な体と強い精神力を持ち、主体的に社会貢献する資質を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	○管内唯一の理数科設置校として、SSH 事業を通じた連携の推進、海外交流の促進を図った。 ○探究学習を全校体制で取り組み、主体的・協働的学習を推進した。	○創立 50 周年を迎え、啓成高校の伝統が育まれていると感じている。 ○教職員が一体となって目標・目的に向かって熱心に取り組んでおり、SSH 事業の取り組み、学習指導や生活指導で良い結果がでている。
改善方策	本校の特色ある教育活動に対し教員が組織的に取り組む体制をより充実させる。	
教育課程	○積極的にアクティブラーニングを導入し、課題解決能力の育成に向け授業改善を推進している。 ○次期学習指導要領による教育課程編成に向け情報の収集、分析が必要である。	○計画的にカリキュラムが作られている。 ○授業アンケートで勉強が好きでない、家庭での学習が少くないなどの課題がある。生徒のやる気を起こす指導をお願いしたい。
改善方策	各教科による授業改善から全校体制による授業改善の取り組みを推進する。	
生徒指導	○朝の登校指導等での生徒観察、担任面談や日常の声かけ等による生徒理解が充実している。生徒は落ち着いた学校生活を送っている。 ○いじめの未然防止に努め成果をあげているが、保護者への発信に課題が残った。 ○委員会による教育相談体制は整ってきたが、より充実させる必要がある。	○生徒の状況は大変良い。 ○朝登校時に校門前等での生徒を迎え入れる教員の姿勢は大変良い。今後も継続してほしい。 ○インターネットに係る問題など生徒指導の新しい課題について生徒への適切な指導をしてほしい。
改善方策	教員の共通理解に基づく指導を継続し、いじめの取組等について外部への発信に努める。	
進路指導	○生徒一人ひとりの進路実現に向け、分掌と学年の連携による進路相談が充実している。 ○本校生徒の特性に応じた進学講習のあり方を研究し、改善を図っている。	○生徒一人一人に対し、本人、保護者と連携した進路指導を進めており、良い結果と結びついている。 ○大学等への進学者が増加しているが、今後も幅広い進路指導をお願いしたい。
改善方策	進路講習や模試の効果的な実施を図るとともに、教員個々の授業力向上に努める。	
その他	○ホームページの充実を図り、情報発信に努めたが、SSH や探究学習など本校の特色ある教育活動について保護者や地域、中学生への情報発信に課題が残った。	○保護者や地域からの学校への関心が少ないと子どもの成長に悪影響を与える。本校の P T A 活動は活発であり、今後も更なる活動の発展を期待したい。
改善方策	学校情報の適切な発信に努めるとともに、中学生向けの体験入学の時期や内容を検討する。	
公表方法	学校評価報告書・保護者アンケート結果・学校関係者評価結果等の H P への掲載 保護者アンケート結果の配布	

3 添付資料

- (1) 平成 2 8 年度北海道札幌啓成高等学校保護者アンケート結果
- (2) 平成 2 8 年度北海道札幌啓成高等学校自己評価結果
- (3) 平成 2 8 年度北海道札幌啓成高等学校一次学校関係者評価結果
- (4) 平成 2 8 年度北海道札幌啓成高等学校二次学校関係者評価結果